

安全報告書 2019

(2018年度分)



株式会社 札幌振興公社

株式会社札幌振興公社 安全報告書

藻岩山ロープウェイ（複線交走式普通索道）
大倉山ジャンプ競技場リフト（単線固定循環式特殊索道）

平成30年度分

（2018年度分）

目次

	利用者の皆様へ	1
1	安全方針	1
2	安全重点施策	2
3	事故等の発生状況	2～3
	3-1 索道運転事故	2
	3-2 インシデント	2
	3-3 強風・雷・大雪による運休の状況	3
4	輸送の安全確保のための取組み	3～8
	4-1 安全統括会議及び現場巡回	3
	4-2 安全教育	4
	4-3 安全重点施策への取組み	5～8
	4-4 その他の取組み	8
	4-5 平成30年度整備計画	8
5	安全管理体制	9
	5-1 安全管理体制	9
	5-2 ご意見をお寄せ下さい	9

利用者の皆様へ

日頃から株式会社札幌振興公社の索道事業に対して、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

この度、令和元年8月24日に発生いたしました藻岩山ロープウェイの搬器が支柱に衝突するという事故により、怪我をされたお客様や当日ご利用いただきおりましたお客様には、大変ご迷惑をお掛けしましたことを心から深くお詫び申し上げます。

今後、二度とこのような事故を繰り返すことがないように、整備実施体制・社内安全管理体制・専門人材の育成などの改善を継続的に進め安全確保に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社
代表取締役社長 板垣 昭彦

1 安全方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行い、「安全方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しています。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し厳正・忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時はもつとも安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

安全方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期するため、平成30年度の安全重点施策を次のように策定しました。

《目標1》「安全が最優先」「安全が最高のサービス」を浸透させます。

- (1) 基本動作を徹底するための教育訓練の実施
- (2) 安全マネジメントシステム（PDCAサイクル）による業務改善

《目標2》安全と効率の向上を図るため、仕事をしやすい職場環境を整えます。

- (1) 「5S活動」への取り組み

《目標3》安全で安定した運行のための業務改善に取り組みます。

- (1) 緊急事態発生時の外国からのお客様対策の整備
- (2) 主要機器の経年劣化に対応した計画的整備の実施
- (3) お客様の多様化や技術革新に対応するために人材を育成

3-1 索道運転事故

平成30年度は索道運転事故の発生はありませんでした。

3-2 インシデント

索道運転事故の発生する恐れがあると認められる事態のことで、平成30年度はインシデントの発生はありませんでした。

3-3 強風・雷・大雪・その他による運休の状況

(1) 藻岩山ロープウェイ

終日運休 7日間 (79時間30分)

一時運休 28日間 (117時間35分)

※ 9月の北海道東部胆振地震に伴う停電・節電等による、終日運休4日間、一時運休2日間を含む。

(2) 大倉山ジャンプ競技場リフト

終日運休 4日間 (38時間00分)

一時運休 11日間 (22時間10分)

※ 9月の北海道東部胆振地震に伴う停電・節電等による、終日運休4日間を含む。

4

輸送の安全確保のための取組み

4-1 索道安全統括会議及び現場巡回

平成27年4月から開催の索道安全統括会議も4年が経過し、安全確保に必要な情報や取り組みなど、会議で話し合われた内容を周知し共有することで、社員一人一人の安全に対する意識・姿勢が高まっております。

(1) 索道安全統括会議

安全統括会議は、社長をはじめとする本社の経営層部門と現場で索道を運行する藻岩山事業部及び大倉山事業部の実務担当責任者で構成し、安全統括管理者が議長となって毎月定例的に開催しております。

この会議には、運行・整備状況の月次報告、事故・トラブルに関する報告と対策や現場から収集したヒヤリ・ハット情報などに基づく対策・効果の検証の他、運輸安全マネジメントに関する研修などを行っております。



運輸マネジメント研修

(2) 現場巡回

経営層による現場巡回を計画的に実施し、経営トップから安全に関わる方針などを訓示して周知するとともに、直接対話を行うことで意見・要望を収集しております。

平成30年度の計画的な現場巡回は、ゴールデンウィーク期間中、夏の繁忙期、年末年始の繁忙期、雪まつり期間中に実施し、さらに重大事故を想定した現場での訓練も経営トップが参加して評価を行いました。



ロープウェイの救助訓練終了後の総評

4-2 教育訓練

(1) 定期教育

指差呼称や機械装置の取り扱いの基本動作を徹底するための集合教育、安全管理規程、運転取扱細則、整備細則等の再教育を目的とした勉強会、過去の事故等の例を題材にした研修などを、施設の整備（12月検査等）に伴う営業休止期間中や運休時に実施しました。



藻岩山ロープウェイの安全教育
(整備期間 H30. 11. 15)



大倉山ジャンプ競技場リフトの安全教育
(整備期間 H30. 4. 20)

(2) 接遇研修

お客様の多様化にも対応した接遇や外国語についての研修を実施し、安全・安心・快適な索道施設を目指した取り組みを進めました。

藻岩山ロープウェイ

実施日：H30. 11. 15

大倉山ジャンプ競技場リフト

実施日：H30. 4-11, 12, 18, 19, 25, 26

(3) AEDの設置・救命講習・消防訓練

各施設にAEDを設置するとともに、毎年（公財）札幌市防災協会や消防による普通救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用、止血法）の受講と消防訓練を実施しました。

【藻岩山ロープウェイ】



普通救命講習（実施日：H30. 11. 15）

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



普通救命講習（実施日：H30. 4-13, 16, 17）



消防訓練（実施日：H30. 7. 6、11. 16）



消防訓練（実施日：H30. 8. 21）

4-3 安全重点施策への取組み

(1) 基本動作を徹底するための教育訓練の実施

① 研修や訓練、経営トップによる現場での訓示、日常のミーティング等で基本動作を徹底するための取組みを継続しました。

【藻岩山ロープウェイ】



消防との合同救助訓練
(実施日：平成30. 11. 16)



予備原動機の運転訓練（隔月ごと）

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



リフトからの救助用具による救助訓練
(実施日：平成30. 4. 20)



平成30年8月リフトミーティング

② シフト勤務であっても全員が安全関係情報を同じように受け取れるようにするため、「安全への取組み」の隔週発行を継続しました。

平成30年度の「安全への取組み」で取り上げたテーマ

- ・「平成30年度の安全重点施策」について
- ・国土交通省から送付された保安情報
- ・飲酒に関連した問題行動について
- ・「5S活動」の効果
- ・事故（アクシデント）とインシデント
- ・雷による事故について
- ・大阪北部で発生した地震について
- ・西日本豪雨について
- ・索道管理者基礎講習会での教材事例
- ・3年前の「日航ジャンボ機墜落事故」
- ・「安全・快適パトロール」を始めます
- ・ヒューマンエラーの原因
- ・「安全報告書2018」について
- ・「索道人身障害事故例」の教訓
- ・ヒューマンエラーの対策
- ・最近の輸送関連トラブル
- ・KY（危険予知）活動
- ・大倉山、藻岩山のヒヤリ・ハット情報
- ・「安全」の定義について
- ・停電の原因にもなる暴風雪のこと
- ・「平成30年度安全重点施策」の進捗状況
- ・ヒューマンファクターについて

(2) 安全マネジメントシステム（PDCAサイクル）による業務改善

現場から収集したヒヤリ・ハット情報について、原因の分析、対策案、緊急度、費用などを安全統括会議に諮って対応策を決定しました。

対策の実施後は効果の評価や見直しを行うこととしており、「PDCAサイクル」を実感できるように取り組みを進めました。

また、安全統括会議のメンバーによる「安全・快適パトロール」で抽出された課題などについても、この手法で業務改善につなげております。

【藻岩山ロープウェイの例】

[ヒヤリ・ハット情報] ロープウェイの外窓を拭く時に、反対側へ移ろうとして、渡り板で足を滑らせた。

[原因の検討]

渡り板の構造、作業方法、従業員の装備

[対策の検討]

雪の積もらない板への変更や滑りにくい靴を支給することを検討

[対策の実施] 渡り板の変更、安全性の高い靴を支給



雪が積もらない網目状の踏板に変更

(3) 「5S活動」への取り組み

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰（しつけ）」を意識する活動を継続し毎日の仕事をしやすい環境を整えることを目指しました。

2年目は、作業場や倉庫などの整理が簡単でない箇所へと展開し、徐々に改善が進みました。



作業場や機械室に掲示



休憩室内に掲示

(4) 緊急事態発生時の外国からのお客さま対策の整備

ロープウェイが停止した際の搬器内での案内を記載したパネルやリフトが停止した際の救助説明を放送するアンプの設置



リフト停止時の非常放送2か国語対応アンプ設置

(5) 主要機器の経年劣化に対応した計画的整備の実施

藻岩山ロープウェイについては支柱2本の受索輪32輪の分解整備を行い、大倉山リフトについては油圧緊張シリンダーの更新や索条の切り詰め工事を実施しました。

【藻岩山ロープウェイ】



支柱受索輪の分解整備



支柱受索輪の分解整備

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



油圧緊張装置シリンダー更新工事



油圧緊張装置シリンダー更新工事



ユニバーサルジョイント更新



索条切り詰め工事

(6) お客様の多様化や技術革新に対応するために人材を育成

講習会や研修への参加で専門知識の習得や各種情報の収集に取り組み、また、外国語や技術関係の各種資格取得を目指し、職員のスキルアップを図りました。

4-4 その他の取り組み

(1) 従業員の安全対策

冬期間の安全・防寒対策の見直しを行い、防寒性が高く動きやすい作業服や滑りにくい靴を支給しました。

(2) 「安全・快適パトロール」の実施

安全統括会議のメンバーが現場をパトロールし、様々な観点から現状の確認と課題の抽出を行い、お客様と従業員の「安全・安心・快適」に関わる改善を進めるため、年2回「安全・快適パトロール」を実施しました。



掲示盤の点検
(掲示方法や掲示物の内容)



コインロッカーや看板等の設置位置の点検
(導線の妨げの有無や利用しやすい位置にあるか)

4-5 平成31年度整備計画

主要機器の経年劣化に対応するための整備として、平成31年度は次の事業を計画しました。

【藻岩山ロープウェイ】

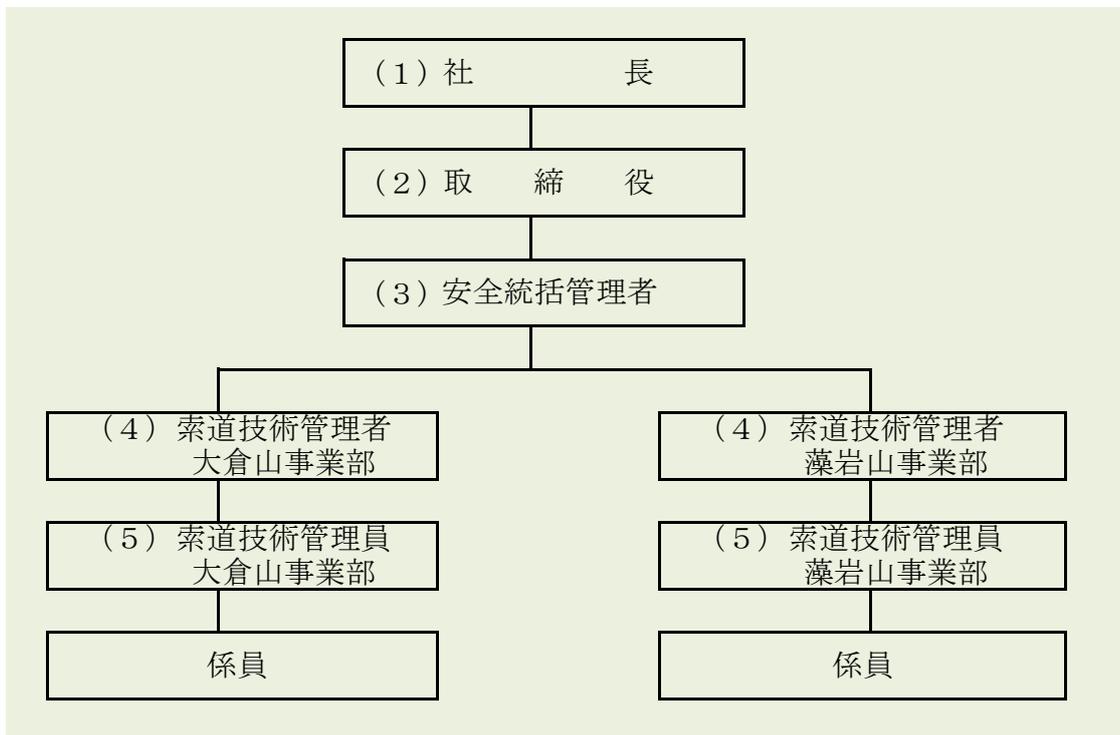
- (1) 索条切り詰め工事
- (2) 懸垂機の受索輪分解整備

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

- (1) 電動機オーバーホール
- (2) 圧索装置分解整備
- (3) 保安制御点検

5-1 安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおりとし、各責任者の責務を明確にしております。



- (1) 社長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
 (2) 取締役 設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
 (3) 安全統括管理者 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
 (4) 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
 (5) 索道技術管理員 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

5-2 ご意見をお寄せ下さい

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

藻岩山事業部 TEL (011) 561-8177
 (藻岩山ロープウェイ) FAX (011) 561-8178
 HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>

大倉山事業部 TEL (011) 641-1972
 (大倉山ジャンプ競技場リフト) FAX (011) 632-4901
 HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>